

施策の骨子

1. 学力の向上、困難を「生きる力」の育成

ア. 家庭教育を補完する学びの機会と場づくり

- ・学習習慣の習得と学力向上を図る学習ボランティアによる学習支援
- ・学習機会に恵まれない子どもを対象に学習支援する自主夜間中学の支援 等

イ. 高等教育を目指すためのインセンティブの提供

- ・生活困窮世帯の高校生を対象に教育費負担の軽減 等

ウ. 子どもの悩みを受け止める心のケアの充実

- ・スクールカウンセラーの配置等による「心の教育」の充実
- ・中、高校生が気軽に相談できるメール相談 等

エ. 優れた文化・芸術とのふれあいや、人との交流活動を通じたロールモデルや「出来る」、「人の役に立つ」体験の提供

- ・地域の住民、企業や大学等との協働により、子どもに様々な体験活動の機会を提供
- ・地域を巻き込んだボランティア活動や地域行事への合同参加を実施
- ・実技指導等を行う芸術家の学校への派遣や一流文化芸術団体による巡回公演 等

2. 安心・安全の居場所づくり

ア. 子どもが安心して集える地域の居場所づくり

- ・経済的困難な環境にある子どもが、放課後や土、日曜日に気軽に集い、食事等も行える地域の居場所づくり
- ・児童養護施設の退所した子どもの、就労、就学を支援するとともに居場所を確保するアフターケアを実施 等

イ. 社会的養護の子どもに寄り添う家庭的な環境づくり

- ・里親委託の推進、児童養護施設の小規模化等による家庭的養護の推進 等

3. 家庭の生活を下支えする

ア. 支援が必要な家庭に、寄り添い、支援する。

- ・要支援家庭に対する乳幼児期からのアウトリーチによる養育支援
- ・効果的な「しつけ」プログラムの普及促進
- ・ひとり親家庭の親の学び直しや就職に有利な資格取得の援助等就労、生活の支援等

4. 福祉、教育等行政と地域が連携した支援の推進

ア. 支援が必要な子どもを、早期に発見し、地域で見守る仕組みづくり。

- ・要保護児童対策地域協議会等を活用した福祉、教育等行政と地域の連携体制づくり
- ・スクールソーシャルワーカーの活用の推進 等

経済的困難な環境にある子どもを支援する奈良県計画

目次 (案)

第1章 基本的考え方

第1. 奈良県計画の策定

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画策定の検討体制
- 3 計画の期間
- 4 計画の進捗管理

第2章 経済的困難な環境にある子どもの状況と課題

第1. 経済的困難な環境にある子どもの状況

- 1 生活保護、就学援助等生活困窮世帯の子ども
- 2 ひとり親世帯の子ども
- 3 社会的養護の子ども

第2. 経済的困難な環境にある子どもに関わる課題

- 1 学力の不足と自己肯定感や将来の希望の低下
- 2 安心、安全の確保の不十分
- 3 家庭環境の不安定と地域からの孤立
- 4 行政、地域による包括的な支援体制の未整備

第3章 支援施策

第1. 基本目標と施策の方針

第2. 経済的困難な環境にある子どもへの支援

- 1 学力の向上、困難を「生きる力」の育成
- 2 安心、安全な居場所づくり
- 3 家庭の生活を下支えする
- 4 福祉、教育等行政と地域が連携した支援の推進